

第3回（令和6年度）

あいち教育賞 作品募集！

主催
愛知県教育委員会
公益財団法人
愛知県教育振興会

「せっかく研究したので、多くの先生方に研究成果を共有したい！」

「こんな実践をしたら、子どもたちがいきいきと取り組みました！」など

先生方の素敵な研究・実践を広く募集しています！



募集内容

日頃研究していること、実践していること等

応募資格

県内の公立学校（幼稚園・小中学校及び義務教育学校・高等学校・特別支援学校）に勤務する教職員

募集部門

実践研究部門（学びのフロンティア）
教育研究論文部門

募集期間 令和6年7月1日から8月1日まで

- 最優秀賞
部門ごとに1点以内
- 優秀賞
部門ごとに3点以内
- 佳作
部門ごとに6点程度

【備考】

次に掲げる研究・実践等は応募を御遠慮ください。

- 研究誌（大学等の研究誌を含む）、雑誌、新聞等に掲載されたもの、または本年度中に掲載予定のもの（ウェブページへの掲載も含む）。ただし、県、市町村及び事務協議会の研究誌及び校内研究紀要の範囲内で公表されたものについては、応募可。
- 出版社、新聞社等の募集する懸賞論文等に応募したもの、または本年度中に応募予定のもの。

最優秀賞及び優秀賞作品は『<あいち教育賞>研究・実践集』（公益財団法人愛知県教育振興会発行）及び愛知県総合教育センターのウェブページに掲載します。

詳細は愛知県総合教育センターのウェブページを御覧ください。

<https://apec.aichi-c.ed.jp/cms/page-1849/page-2962.html>





第2回（令和5年度）あいち教育賞受賞作品



共同の部

心と体を一体としてとらえ、セルフコンディショニングができる児童の育成
ー運動プログラムと感覚統合により、理想的な姿勢を取り戻し、けがを予防するー

児童のけがを予防するためには、身体能力向上、姿勢改善が必要だと考えた。運動プログラムや感覚統合、また、家庭や社会との連携による啓発活動などを通じて実践を行った。自らの心の変化や、身体状態に気づき、セルフコンディショニングができるようになれば、生涯にわたる「豊かなスポーツライフ」を送るための基礎となると考えた。



個人の部

「やってみたい」という思いをもち、友達と考えを伝え合いながら、自分たちで課題を解決する子の育成

ー特別支援教育 総合的な学習の時間 地しんから自分の身を守るの実践を通してー

本研究では、特別支援学級の児童を対象に、発災後の避難の仕方について活動や体験を通して、意欲的に取り組み、考えを伝え合いながら自分たちで課題を解決できる子を目指した。三河地震後の藁を使った生活体験や避難グッズをリュックに詰める活動、備蓄品一覧の資料等を使った話し合いから、自分事として捉え、避難の仕方を考えることができた。

現象を主体的に追究し続け、科学的根拠をもとに考察し、考えを深める生徒の育成
ー3年理科「鳴らして、回して、光らせて～より強い電池を目ざして～」の実践を通してー

本研究では、生徒が問題意識を繰り返しもつ単元構想の工夫により、現象を主体的に追究し続けられる生徒を目指した。また、理科の見方・考え方を働かせるように、一人一人実験の場や、交流学びの場を繰り返し設定することで、科学的根拠をもとに現象を考察し、他者の意見から自分の考えを深められる生徒を目指した。

説明文を批判的に読む力を養い、自らの表現活動に生かそうとする生徒の育成

3年生国語「作られた「物語」を超えて」を教材として、説明文を批判的に読み、多面的に評価する活動を行った。その手だてとして、チーム学習への意図的支援、構成表を用いての既習説明文との比較、評価の可視化などを行った。また、評価活動で学んだことを生かして、生徒自身の作文をより分かりやすくするために推敲した。

上記の作品については、6月頃総合教育センターの
ウェブページで公開する予定です

